

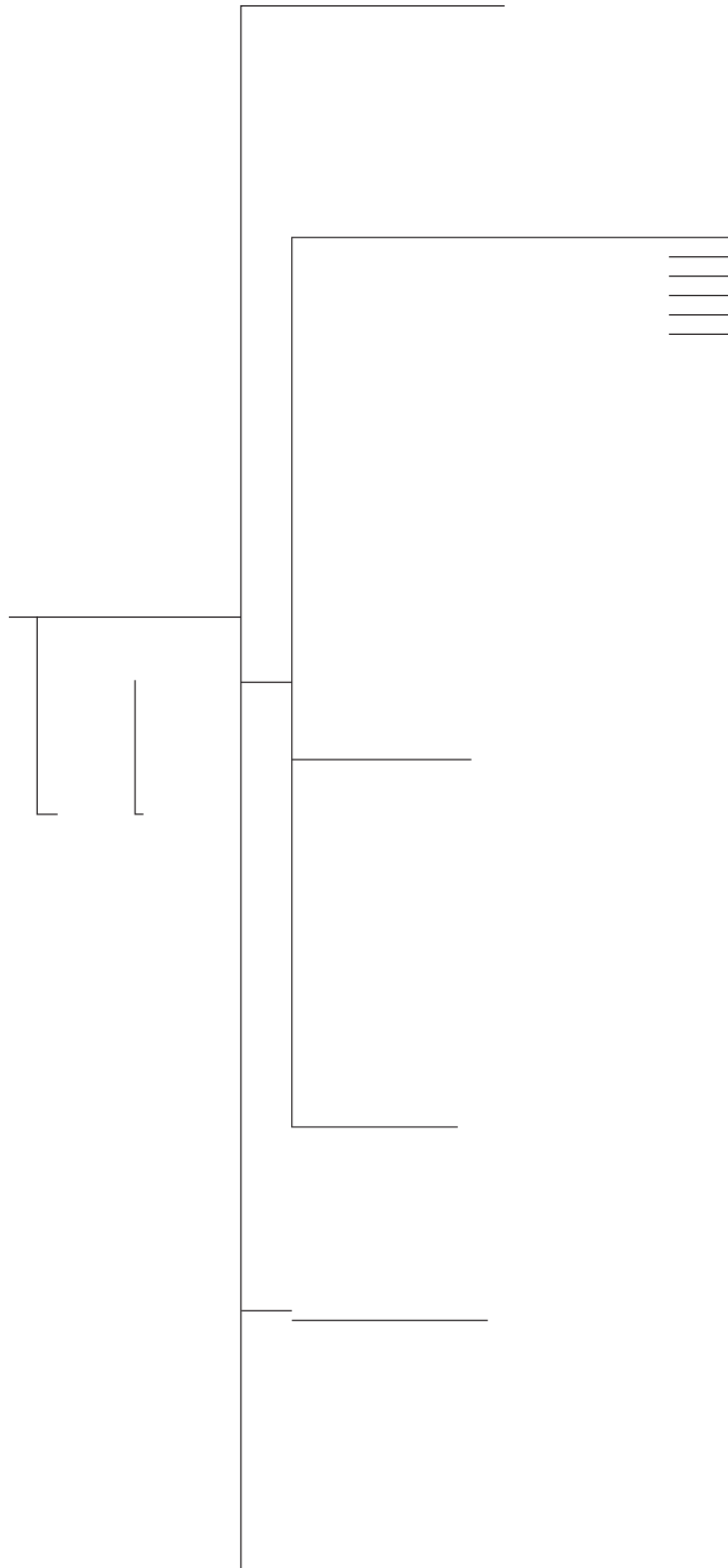
組織図

三菱UFJフィナンシャル・グループ

三菱UFJフィナンシャル・グループ
業務内容／主要な関係会社



組織図







取締役 監査等委員

国内ネットワーク

海外ネットワーク

2022年度の市場リスクの状況

お客さまとの取引にあたり、高い倫理観のもと市場性業務のプロフェッショナルとして、最良執行に貢献します。また、市場取引で発生する様々な種類のリスクを適切にコントロールし、お客さまの市場流動性へのアクセスを確立

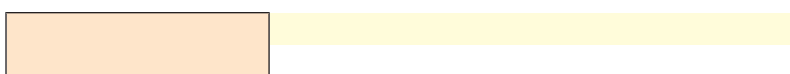
し、継続的・安定的な関係を構築することを目指します。

2022年度のトレーディング業務におけるVaRの状況は次表の通りです。

トレーディング業務のVaR

トレーディング業務の市場リスク量

(単位：億円)



2022年度のバンキング業務（政策投資株式の市場リスクは除く）におけるVaRの状況は次表の通りです。

バンキング業務のVaR

バンキング業務の市場リスク量

(単位：億円)

| | 2021年4月～2022年3月 | 2022年4月～2023年3月 |
|--|-----------------|-----------------|
| | | |

反社会的勢力に対する基本方針

MUFGグループは、次のとおり反社会的勢力に対する基本方針を定め、役職員一同これを遵守することにより、
シ 弊 害 防 止

三菱UFJ

三菱UFJ

三菱UFJ





銀行法及び再生法に基づく債権の状況

(1) 銀行法及び再生法に基づく債権の状況

(単位：億円)





1. 国内店舗・海外拠点数

2021年度



















三教CUE

U



8. 証券代行業務

証券代行受託実績

(地域別)



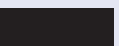
(単位：百万円)

| 項番 | 2021年度末 | | | | | | |
|----|-------------|---|---|---|---|---|---|
| | リ | ヌ | ル | ヲ | ワ | カ | ヨ |
| | 合成型証健滋嘩 オイキ | | | | | | |

IRRBB1：金利リスク

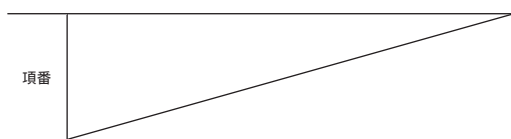
(単位：百万円)

| 項番 | |
|----|--|
| | |





時系列における単体安定調達比率の変動に関する事項





CR7：内部格付手法 - 信用リスク削減手法として用いられるクレジット・デリバティブが信用リスク・アセットの額に与える影響 (単位：百万円)

項番

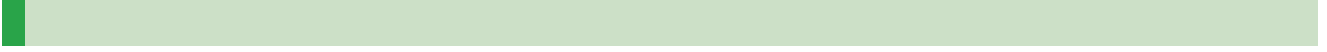












算入可能適格流動資産の合計額の内容に関する事項

算入可能適格流動資産の通貨又は種類等の構成や所在地に、著しい変動はありません。

主要な通貨（当該通貨建て負債合計額が、当社単体の負債合計額の5%以上を占める通貨）において、算入可能適格流動資産の合計額と純資金流出額の間、著しい通貨のミスマッチはありません。

その他単体流動性カバレッジ比率に関する事項

1. 当社単体では、銀行流動性比率告示第29条に定める「適格オペレーショナル預金に係る特例」を適用していません。
2. 当社単体では、銀行流動性比率告示第38条に定める「シナリオ法による時価変動時所要追加担保額」を適用していません。
3. 銀行流動性比率告示第53条に定める「その他偶発事象に基づく資金流出額」には、「プライベート・エクイティ・ファンドに係る資金流出額」等を計上

畔ラ葱京

